

ソーシャルワーク教育団体連絡協議会（ソ教連） 厚生労働省 PT による「－新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン－」に 関する特別委員会の設置について

第1回「新ビジョン」特別委員会 2015年12月25日18時～

1. 設置の趣旨

厚生労働省のプロジェクトチームが9月17日に発表した「誰もが支え合う地域の構築に向けた福祉サービスの実現－新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン－」は、今後の福祉改革とそれを担う福祉人材の育成・確保について、包括的で、しかもかなり大胆な提案を行った。

ソ教連は他団体に先駆けて、11月1日の第45回全国社会福祉教育セミナーで「緊急企画」を開催し、厚生労働省担当者より「新ビジョン」について説明をうけると共に、学校連盟と社養協の代表が「新ビジョン」についての分析と今後の対応について私見を述べたところである。

「新ビジョン」では、社会福祉士制度の改革の必要についても示唆されており、2018年度に社会福祉士養成カリキュラムの改定が実施されるとの非公式情報もある。「新ビジョン」では精神保健福祉士についての言及はなく、そのこと自体が問題であるが、今後の福祉人材の育成・確保を考える上では、精神保健福祉士の在り方についても積極的に検討する必要がある。

そこで、ソ教連として「新ビジョン」に対応した「特別委員会」を立ち上げ、今後の福祉改革と福祉人材の育成・確保について、社会福祉士制度と精神保健福祉士制度の改革を中心にして検討することとする。

2. 構成等

短期間での集中的な検討を行うために、特別委員会の委員はソ教連3団体の代表（会長が推薦）および厚生労働省が検討している改革についての情報に精通している研究者数名とする。

なお、特定のテーマについて検討する際は、「臨時委員」の参加も可能とし、ソ教連会議（会長レベル会議）の構成員は、委員会での議論に自由に参加できるものとする。

- 委員長： 二木 立 日本社会福祉教育学校連盟会長
- 委員長代理： 上野谷 加代子 日本社会福祉士養成校協会副会長
- 委員： 伊東 秀幸 日本精神保健福祉士養成校協会会長
- 委員： 白澤 政和 学識経験者・桜美林大学大学院教授
- 委員： 原田 正樹 学識経験者・日本福祉大学教授

3. 検討項目

- ①「新ビジョン」に対応した社会福祉士・精神保健福祉士の育成のあり方及び教育カリキュラム
- ②「新ビジョン」にかかる関係団体等との協働・連携方策

本委員会は月1回開催を原則として、2016年5月を目途に「(暫定的) 報告・提言」をまとめ、それをソ教連3団体の定期総会等で示すと共に、「報告・提言」が、今後の厚生労働省の福祉施策に寄与することを旨とする。

4. 運営

- ① 本委員会の開催は委員長が招集し、委員会開催にかかる事務は、社養協事務局が行う。
- ② 本委員会の開催にかかる費用は、社養協が負担する。

5. その他

上記のほか、特別委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が定める。